

学級活動指導案

— 人権教育としての協議の視点 —

ジェンダーに関わる読み聞かせやスライドによる説明は、性的マイノリティのこと、自分のことや自分と友達との違いに気付く手段として有効だったか。

I 題材名「みんなともだち」

II 学習指導要領の位置付け

(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

イ よりよい人間関係の形成

学級や学校の生活において互いのよさを見付け、違いを尊重し合い、仲よくしたり信頼し合ったりして生活すること。

III 題材設定の理由

(削除)

IV 身に付けさせたい資質・能力及び児童の実態

	身に付けさせたい資質・能力	児童の実態
知識・技能	好きなことや、興味のあることは1人1人がそれぞれみな違うものであり、友達の考えに左右されたり男の子、女の子ということを決まったりするものではなく、自分自身で決めていいことを知る。	(削除)
思考力・判断力・表現力	読み聞かせや養護教諭の話を聞いて、自分の周りには自分と違う考えを持っている人がいることを知り、それを認めて受け入れようとする気持ちを持つことができる。	(削除)
主体的に学習に取り組む態度	発表や話し合いを通して自己の課題を見つけ、今後の学校生活に生かそうとしている。	(削除)

V 指導計画

	主な内容	主な学習活動	評価の観点		
			知	思	態
事前の活動	問題の発見と確認	○「自分と友達と関係」についてのアンケートを取り、事態を把握する。		(○)	○
		本時の学習		○	
事後の活動	決めたことの実践及び振り返り	○2週間、学校生活で行動目標が達成されているかを帰りの会等でチェックし、友達の良さを認めて仲良く生活していこうという行動意識を高める。	(○)	(○)	○

VI 人権教育との関わり

人はそれぞれ1人1人みな違った存在である。自分の事を知り自分を大切にするとともに、友達のことを知り大切にしようという気持ちを持つことが大切である。群馬県人権教育充実指針の11の人権重要課題で「性的マイノリティの人たちに対する偏見や差別の解消を図る(抜粋)」を掲げている。

そこで、本単元では、養護教諭とのTTで、読み聞かせやスライドから性的マイノリティの例や自分というものは性別に左右されるものではないことを学習する。さらにグループ活動を通して、ちがいを認め合うことについて考えていく。

VII 本時の学習

- 1 **ねらい** 学級の友達は1人1人がみんな違うことを知り、違いを受け入れて仲良くしていくために自分はどうすればよいかを決める。
- 2 **準備** 事前アンケート結果スライド、読み聞かせ用スライド、自分らしさとはを説明するためのスライド、ワークシート、行動目標を掲示するための模造紙
- 3 **人権教育の視点**
 - 感性：読み聞かせや、スライドによる説明から性的マイノリティのこと、自分のことや自分と友達との違いに気付く。
 - 判断力：人はみな違うということを知り、自分はどのように行動していくかを考えグループで考えを交流させることができる。

4 展開

主な学習活動 ○教師の発問 ☆児童の意識 ◇指示	指導上の留意点及び支援・評価		時間
	T 1 (学級担任)	T 2 (養護教諭)	
1 事前にとったアンケートから学級の実態や現状を把握する。(つかむ) ○アンケートの結果を見てどう思いますか。 ①自分がみんなとちがうところがあるときどう思うか。 ☆やっぱり自分のことを知ってもらいたいよね。 ☆逆に違うところを知られたくないと思っている人もいるんだな。 ☆「何も思わない」ってどういう意味かな。 ②友達が自分とちょっと違うなというところがあったときどう思うか。 ☆わたしもなかよくなりたと思うな。 ☆「なかよくない」はこれでいいのかな。 ☆「よくないよ」はなかなか言いづらいな。 ③このクラスは、みんなの違うところをどのようにしていると思いますか。 ☆みんな違うところを大事にして「いいね」と言っているは、1人1人はみんな違うんだものね。 ☆違うところに「ちがうよ」と言っている人もいるなあ。 ◇自分のことを知ってもらいたいとか違うところを知ってもらいたくない、自分と違うから仲良くできないと思っている人もいます。自分はどうすればいいのか考えたり話し合ったりしていきましょう。	※アンケートの結果から、自分はちょっとみんな違ったところがあってそれを知ってもらいたいという人もいれば、知られたくないという人もいること、自分とちがう人とは仲良くできないという人がいることを意識させる。 ※今日の授業のめあては何かを考えさせる。	※ICT機器の操作をする。	5分
〈めあて〉ちがいをみとめてみんながなかよくするために、自分ができることを考えよう。			
2 「王様と王様」を読み聞かせを聞く。(抜粋)。(さぐる) ○お話を聞いて、どんなことを思いました	※読み聞かせの前に、「シンデレラ」の話を取り上げ	※ICT機器の操作をする。	

<p>たか。</p> <p>☆男の人と男の人が結婚することがあるんだなと思った。</p> <p>☆男の人と男の人が結婚するなんて何かおかしい。</p> <p>☆男の人と男の人が結婚してもいいのかなと思った。</p>	<p>て「別姓同士の結婚」と「同姓の結婚」を対比する。</p> <p>※おかしいと思ったり、男同士とか男と女とか、心や体に大きく関係していることに意識を向ける。</p>		8 分
<p>3 養護教諭の話聞く。(見付ける)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族のかたちについて ・男の子・女の子って？ ・すきなものはみんな違うこと、自分でそれを決めてよいこと 	<p>※ポイントをカード化しておき、説明のあとにスムーズに掲示する。</p> <p>※机間指導して、意味がわかっている児童がいたら助言等行う。</p>	<p>※スライドを使って視覚的にわかりやすく説明する。</p> <p>※家族については、LGBTQを意識した説明である。</p> <p>※男の子・女の子については、色、スポーツ、趣味、性格など具体例を示しながら説明する。</p>	7 分
<p>4 人は1人1人みんな違うことを知りこれから自分はどのようにしていくか決める。(意思決定をする)</p> <p>○みんなが仲良くするために自分は何ができると思いますか。</p> <p>☆自分とちがうところに気づいても仲良くしたい。</p> <p>☆自分と違うところがあってもその人にしたい。</p> <p>☆今まで通り仲良くしたい。</p>	<p>※友達とは自分と違うところがあって当たり前だということをおさえる。</p> <p>※アンケート結果の「自分のことを知ってもらいたい」、「違うところを知られたくない」「何も思わない」も意識させる。</p> <p>※自分が意思決定したことをカードに書かせる。</p>	<p>【評価項目・思】 違いを認めて、自分がどう行動していくかを決めている。(カード・発言)</p>	4 分
<p>5 考えを交流する。</p> <p>◇グループになって、グループの人の考えを聞いてみてください。</p> <p>☆人はみんな違うことがわかりました。自分と違ってななかよくしたいです。</p> <p>☆友達の話聞いてあげたいなと思いま</p>	<p>※発表する順番を決めて全員が発表できるようにする。</p> <p>※考えが決まらない人はグループの</p>	<p>※T1、T2ともグループの状況を見ながら、スムーズに話し合いが進行するように助言する。</p>	18

<p>した。 ☆誰とでも仲良くしたいと思いました。</p>	<p>人の考えを聞いて 「自分もこうしてみよう。」と考えが決められるとよいことを告げる。</p>	<p>分</p>
<p>6 振り返りを発表する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈振り返りの姿〉 ☆今日の授業で、人はみんな違うことがよくわかりました。これからもみんなと仲良くしたいです。 ☆男の子だから、女の子だからということではなく自分が好きなことは自分で決めればよいことがわかりました。</p> </div>	

5 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>〈めあて〉ちがいをみとめてみんながなかよくするために、自分ができることを考えよう。</p> </div> <p>「シンデレラ」 王子と王女（シンデレラ） 「王様と王様」</p> <p>☆男の人と男の人が結婚することがあるんだなと思った。 ☆男の人と男の人が結婚するなんて何かおかしい。 ☆男の人と男の人が結婚してもいいのかなと思った。</p>	<p>〇〇先生のお話 ・色 ・スポーツ ・好きなもの ・せいかく</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">自分で決めていい。 アンケートの結果</p> <p>「みんなに自分のことを知ってほしい」 「ちがうところえを知られたくない」 「なにも思わない」</p>
--	---

6 ICTの活用

- ・ Google Form アンケート結果の提示
- ・ Google スライドで「シンデレラ」、「王様と王様」、養護教諭の説明資料を提示